

## Ⅲ-2 米国バレーボール協会 (USAV)

### 1. 概要

#### 1.1 基本事項

正式名称	USA Volleyball (USAV)
設立	1928年
法人形態	501(c) 3 非営利団体 (p.74 参照)
代表者	Douglas P. Beal (CEO)

#### 1.2 事業内容

USAV の事業内容は、(1) 米国代表バレーボールチームプログラム、(2) 米国代表ビーチバレーボールプログラム、(3) 米国代表シッティングチームプログラム、(4) ハイパフォーマンスプログラム、(5) イベントプログラム、(6) 指導者育成プログラム、(7) 会員プログラム、(8) マーケティング、(9) テクノロジー・コミュニケーション (メディアリレーションおよびパブリケーション業務を含む) の 9 種類に分類される。

また、USAV が 2010 年に主催したバレーボール大会は 5 大会、ビーチバレーボール大会は 23 大会、国際大会が 3 大会であった。

#### 1.3 種目体系

バレーボールの種別としては、6 人制競技 (インドア)、ビーチバレー、シッティングバレーがある (表Ⅲ-2-1)。米国では、全てのバレーボール種目を USAV が統轄しており、ビーチバレーやシッティングバレーを統轄するための中央競技団体は存在しない。

表Ⅲ-2-1 種目体系

種別	1チーム人数	セット数
バレーボール6人制競技	6	5セット
ビーチバレー	2	3セット
シッティングバレー	6	5セット

USAV ウェブサイトより作成

## 2. 役職員

### 2.1 役員

米国の中央競技団体は、団体が所在する州の会社法に則り法人登記をおこなった後、内国歳入法 (Internal Revenue Code) 第 501 条 (c) 3 項の条件を満たすことにより、連邦の法人所得税が免税となる非営利団体と認定される。日本のように、非営利団体の設立に関する統一的な法律はなく、各州様々な非営利法人法制があるが、州によっては営利・非営利に区別せずに会社法として規定しているところもある。会社法における役員会 (Board of Directors) は、業務執行のための意思決定機関であり、その性格は中央競技団体においても同じである。

(1)役員数および雇用形態

USAV の役員は、男性 11 人、女性 4 人の 15 人で構成されている。全ての役員が非常勤役員で、常勤の役員はいない。

表Ⅲ-2-2 役員雇用形態と人数

	(人)		
	合計	男性	女性
常勤役員	0	0	0
非常勤役員	15	11	4

※定款上の役員定数は 16 人。

(2)役員競技歴

役員 15 人のうち、10 人は地域のバレーボールクラブなどに所属し、大会等に参加した競技経験がある。

(3)役員選定と構成

常任委員会である指名・統治制度委員会 (Nominating & Governance Committee) が、定款に基づき 16 人の理事を選出する。理事の構成は、性別、人種、宗教などに関わらず、少なくとも 20%は国際的なアスリート、20%は USAV と職務関係のない第三者の必要がある。理事の任期は、就任の年の 7 月 1 日から 4 年間で、連続して 2 期 (8 年) 務めることが可能である。定例理事会は、年度初め、USAV ミーティング時 (5 月)、年度中間 (10 月) の 3 回開催されているが、必要に応じて、召集もしくは電話ミーティングを実施する。

役員構成は、USAV 定款により、以下の表Ⅲ-2-3 のように定められている。

表Ⅲ-2-3 役員構成

属性	役員数
インドア男女各1人、ビーチ男女各1人のアスリート	4
過去2年間のうち、USAVと職務関係などのない第三者的人物	3
地域バレーボール協会から選出された者	2
ハイパフォーマンス団体(NCAA等)から選出された者	1
ジュニア議会から選出された者	1
ビーチ議会から選出された者	1
ビーチ議会もしくは他のビーチバレーボール団体から選出された者	1
指導者関連団体から選出された者	1
審判議会から選出された者	1
USAVで12年以上の幹部経験がある者	1

USAV 「定款」 より作成

#### (4) 役員の現職

USAV 役員の現（もしくは元）職は以下の表Ⅲ-2-4 に示すとおりである。

表Ⅲ-2-4 役員の現(元)職一覧

役職	氏名	公職・スポーツ団体役員等
Chairman	Adam Rymer	Lava Bear Films COO兼CFO
Junior Indoor Director	Andy Reitingger	地域協会役員 (North Texas Region) Dallas Summitt Volleyball Club 事務局長
Indoor High Performance Director	Dr. Edward Leland	Pacific College 副学長
RVA Director	Jonathan Lee	地域協会役員(Evergreen Region)
Elite Beach Development Director	★Joy McKenzie-Fuerbringer	Mizuno Long Beach Volleyball Club クラブディレクター
Coach Director	★Kathy DeBoer	American Volleyball Coaches Association 役員
RVA Director	Ken Gain	地域協会役員(Southern Region)
	Kenneth Shropshir	University of Pennsylvania Wharton School 教授 Wharton Sports Business Initiative 役員
Beach Athlete Director	★Kerri Walsh-Jennings	現役アスリート(ビーチ)
National Beach Tour Director		
At-Large Director	Kevin Twohig	地域協会事務局長 (Spokane Public Facilities Region)
Indoor Athlete Director	Reid Priddy	現役アスリート(インドア)
Indoor Athlete Director	★Sarah Sulentor	MedAssets, Inc 地域顧客マネジャー
Beach Athlete Director	Sean Scott	現役アスリート(ビーチ)
	Sue Mailhot	地域協会役員 (Great Plains Region)
	William Barnham	Brentwood Associates Private Equity ジェネラル・パートナー

※★は女性

USAV ウェブサイトより

## 2.2 職員

### (1) 職員数および雇用形態

職員は、正規雇用者 54 人、契約・嘱託職員 5 人、アルバイト・インターン・ボランティア各 1 人の計 62 人で構成されている（表Ⅲ-2-5）。

表Ⅲ-2-5 職員の雇用形態と人数

(人)

雇用形態	合計	男性	女性
正規雇用者	54	26	28
契約/嘱託職員	5	4	1
出向	0	0	0
派遣職員	0	0	0
アルバイト	1	1	0
インターン	1	1	0
ボランティア	1	0	1
職員数	62	32	30

(2)職員の競技歴

アルバイト・インターン・ボランティアを除く職員 59 人のうち、38 人は地域のバレーボールクラブなどに所属し、大会等に参加した競技経験がある。残る 21 人は競技経験がない。

(3)採用状況と入職経路

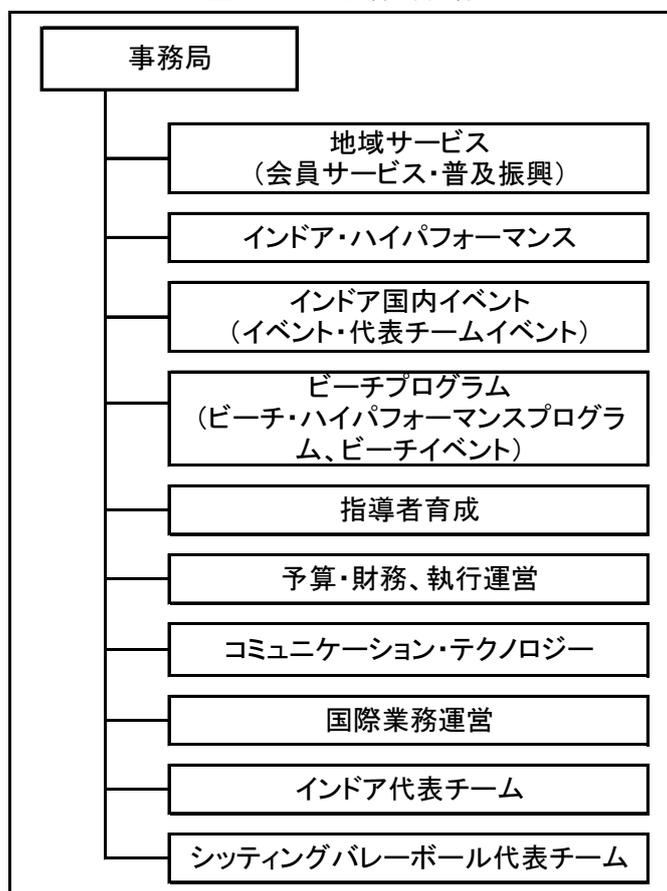
過去 5 年間の職員採用数は 34 人であり、一般公募、インターンからの就職や委員会からの推薦といった経路で入職している。

### 3. 組織

#### 3.1 事務局組織

USAV の事務局組織は、10 部署により構成されている（図Ⅲ-2-1）。

図Ⅲ-2-1 事務局組織



#### 3.2 委員会

##### (1)委員会数

USAV には、役員で構成する「役員会委員会」(Committees of the Board)、4 議会からなる「経営評議会」および 11 の委員会が存在する (表Ⅲ-2-6)。委員の数は、USAV 規則から算出している。空欄の委員会については特に人数に関する定めがないことを意味する。

表Ⅲ-2-6 各委員会の業務内容と人数

役員会委員会 (Committees of the Board) (人)

委員会名	業務内容	委員数
指名・統治制度委員会 (Nominating & Governance Committee)	理事の適正について、調査・選定の先導、および理事候補者の投票結果を報告する。	7
倫理・資格委員会 (Ethics & Eligibility Committee)	USOC承認倫理要綱の策定、管理、監視および、全ての主張、苦情、処罰、不服申立てを裁く。	5
監査・財務・予算委員会 (Audit, Finance & Budget Committee)	年間予算の策定、準備、提示における経営幹部への支援をおこなう。	5

経営評議会 (USAV Administrative Council) (人)

委員会名	業務内容	委員数
地域議会 (RVA Assembly)	地域協会の保険やコンプライアンスなどの問題の対処をおこなう。	各地域協会から1人、計40人
ジュニア議会 (Junior Assembly)	ジュニア登録者に関する問題の精査・対処をおこなう。	-
審判議会 (Officials' Assembly)	審判に関する問題の精査・対処をおこなう。	-
ビーチ議会 (Beach Assembly)	ビーチ登録者に関する問題の精査・対処をおこなう。	-

## 委員会(Commissions reporting to CEO)

(人)

委員会名	業務内容	委員数
多様性委員会 (Diversity Commission)	多様性に関する戦略的計画を策定・維持し、定期的にその計画への協会の遵守を精査する。	委員長および7-8人
ルール試行委員会 (Rule Testing Commission)	FIVBルールを精査し、国内向けの公表書式を提案する。	-
強化育成委員会 (High Performance Commission)	国際レベルのアスリートを選定し育成するためにおこなわれる活動の監視と評価をおこなう。	-
選手権大会委員会 (Championship Events Commission)	全米選手権と全米選手権予選大会の品質向上のために、プログラムを評価する。	-
スポーツ医学・パフォーマンス委員会 (Sports Medicine & Performance Commission)	USAV内におけるスポーツ医学およびパフォーマンスに関する調査研究の調整グループとして機能する。	委員長および5-6人
表彰委員会 (Recognition Committee)	理事会表彰の決定、および年度表彰式“Dorothy C. Boyce Annual Awards Banquet”の運営をおこなう。	委員長および各グループの代表者
指導者委員会 (Coaches' Commission)	全レベルのコーチを選定・育成するためにおこなわれる活動を監視し、評価する。	委員長および3-5人
障害者委員会 (Disabled Commission)	国際競技力を持つ障害者アスリートの発掘と育成、および障害者アスリートの参加機会の提供を監視し評価する。	-
組織機能委員会 (Structure and Function Commission)	正確性・適用性およびアマチュアスポーツ法への遵守を確保するため組織の条項、定款、運営規約、施策等を監視する。	委員長および3-5人
マーケティング委員会 (Marketing Commission)	市場進出のためにバレーボール、スポーツ文化の市場を監視する。国内および国際的な戦略的計画を立案する。	-
会員関係委員会 (Member Relation Commission)	全ての会員組織との関係の調整、改善、維持をおこなう。USAV総会の議案等を調整する。	-

USAV 資料より作成

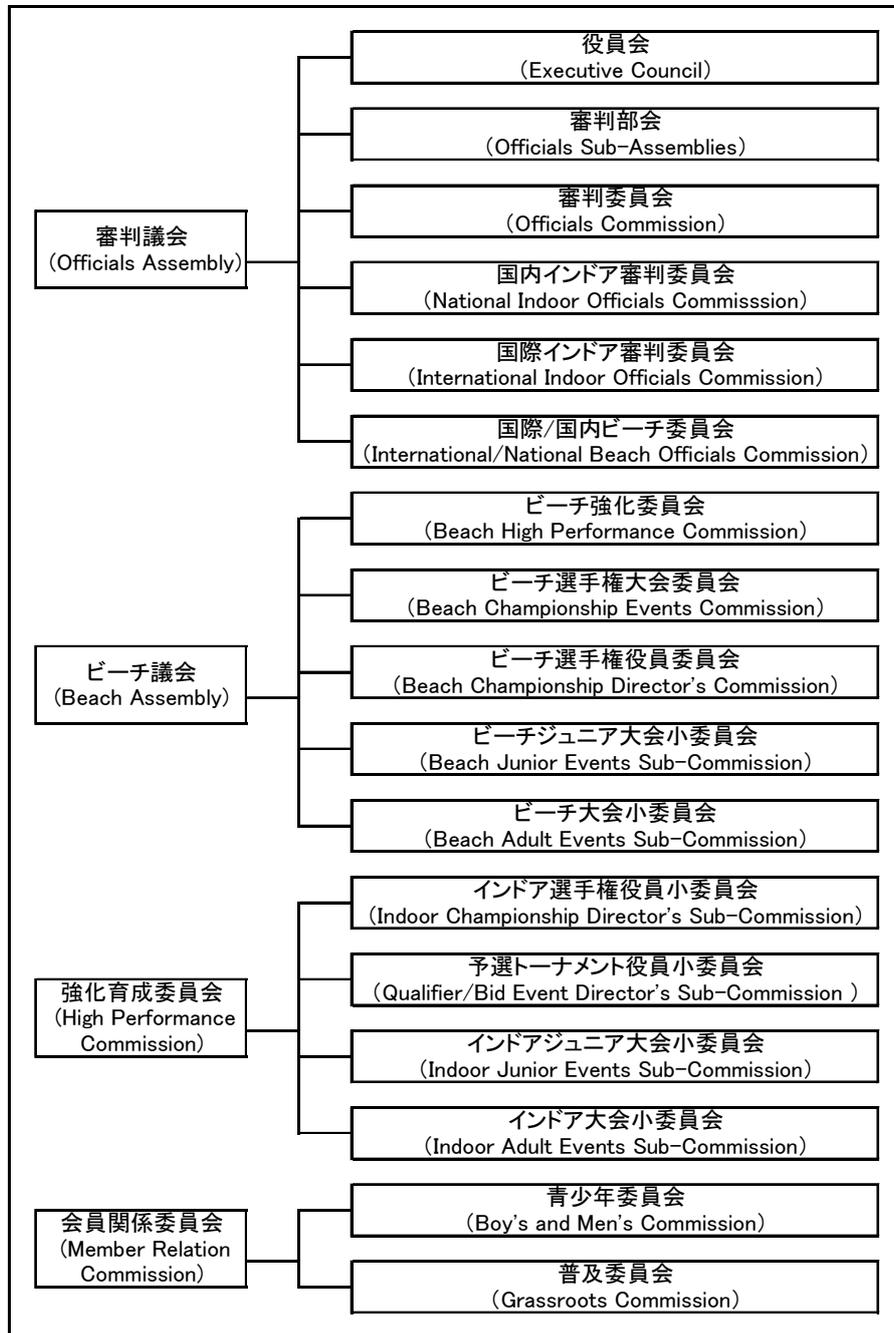
## (2)委員会についての規程および委員の選定方法

各委員会における委員は、投票もしくは指名・統治制度委員会の推薦をもって指名される。委員の構成および資格は委員会によって異なる。委員会は、年度初め、USAV ミーティング（5月）、年度途中（10月）の計3回を定例開催しており、必要に応じて召集もしくは電話会議をおこなう。

## (3)委員会と専門部会の構成

理事会は、CEO の推薦により、各委員会に専門部会もしくは執行委員会を設置できることを、USAV 規則で定めている。「審判議会」「ビーチ議会」「強化育成委員会」「会員関係委員会」には、下記の専門部会および執行委員会が設置されている（図III-2-2）。

図Ⅲ-2-2 委員会・専門部会構成図



USAV 資料より作成

#### 4. 他機関との連携

##### 4.1 加盟統轄団体

USAV は、バレーボールを統轄する国際組織である国際バレーボール連盟（FIVB）と北中米カリブバレーボール連盟（NORCECA）に加盟している。また、国内の競技

種目を統轄する米国オリンピック委員会（USOC）やドーピング防止の指導等をする U.S. Anti-Doping Agency（USADA）のほか、U.S Paralympics にも加盟している。

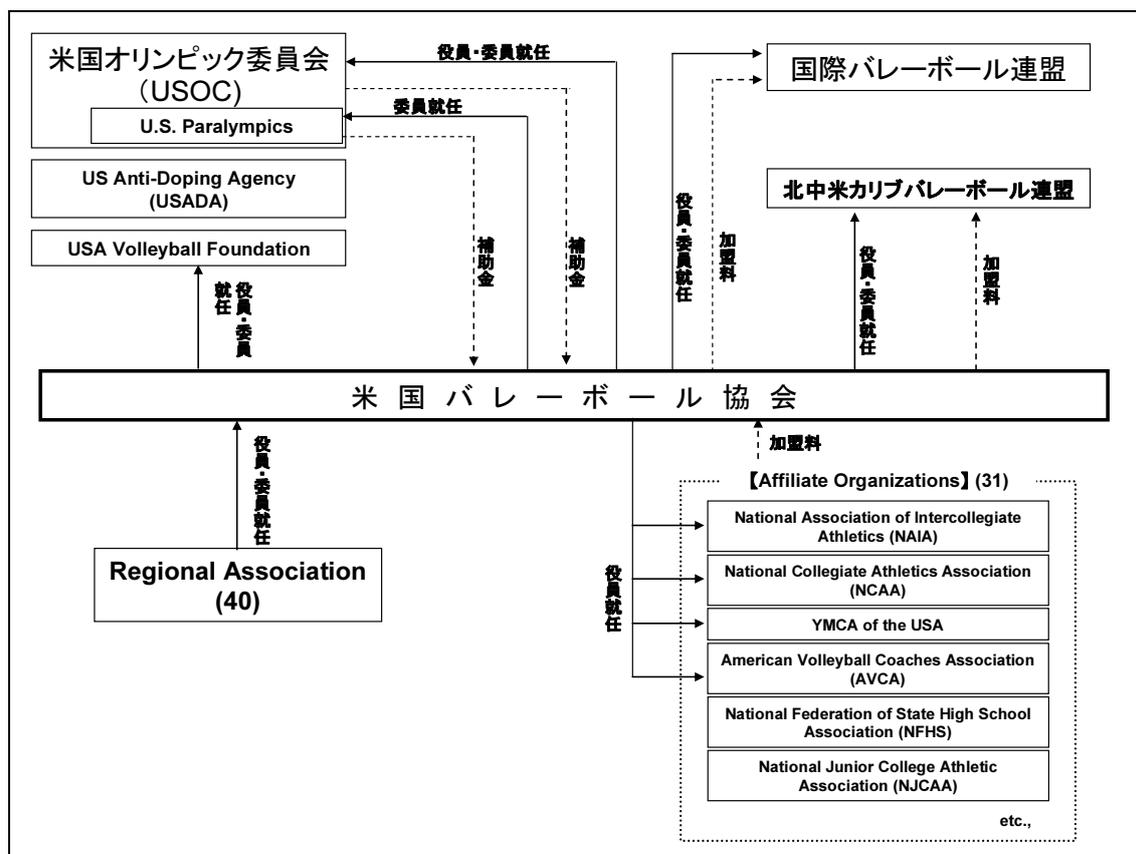
#### 4.2 下部組織と他の全国組織

USAV には、国内を 40 のブロックに分けた地域協会（Regional Association）が加盟している。地域協会は、必ずしも 1 州に 1 協会とは限らない。USAV は、NCAA や YMCA 等の関連団体（Affiliated Organization）と組織提携を結んでおり、2010 年現在で 31 の組織が USAV に加盟している。米国には、中央競技団体やアスリートに対して財政支援をする組織が種目ごとに存在する。バレーボールにおいても、USA Volleyball Foundation（USAV Foundation）が USAV への貸付や、アスリートへの財政的な支援をおこなっている。

#### 4.3 USAV と各機関の関係

中央競技団体と、その上部組織にあたる国際連盟と国内種目統轄団体、下部組織である地域協会および中央競技団体に加盟する全国的な組織（Affiliated Organization）の関係について、人材と財政の観点から相関図を作成した（図Ⅲ-2-3）。

図Ⅲ-2-3 組織関係図



## 5. 登録制度

### 5.1 登録者数

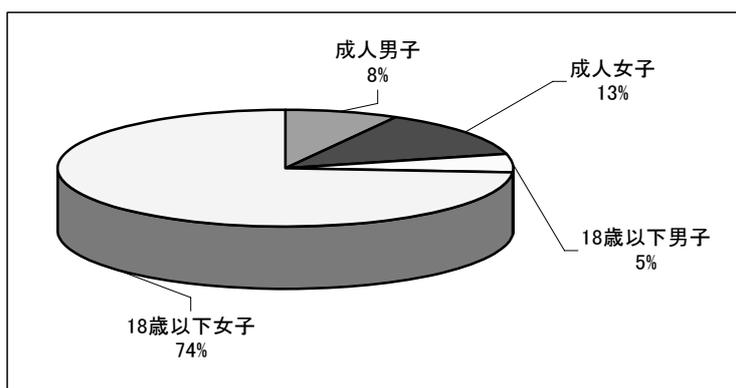
USAV に登録する会員は表Ⅲ-2-7 に示すとおりである。2010 年度は 277,853 人が登録しており、そのうち 9 割近くが女性の会員となっている。さらに、2009 年度のデータをみると、登録会員 255,264 人の割合は、「成人男性」8%、「成人女性」13%、「18 歳以下男子」5%、「18 歳以下女子」74%となり、女性の中でも若年層が 8 割近くを占めていることがわかる（図Ⅲ-2-4）。

表Ⅲ-2-7 登録者数

	(人)	
	2009年度	2010年度
男性	32,895	34,847
女性	222,369	243,006
合計	255,264	277,853

USAV 「2012 USA Volleyball Official Guidebook」より作成

図Ⅲ-2-4 会員割合円グラフ



USAV 「2010 FACT SHEET by the Numbers」より

日本の高体連に類似した組織である National Federation of State High School Association (NFHS) の調べによると、高校生世代のバレーボール実施者は 459,348 人であり、男子が 50,016 人、女子が 409,332 人となっている（2010 年度）（表Ⅲ-2-8）。

表Ⅲ-2-8 NFHS 登録者数

		(人)	
		2009年度	2010年度
NFHS (バレー)	男子	50,467	50,016
	女子	403,985	409,332
	合計	454,452	459,348

NFHS ウェブサイトより作成

## 5.2 登録者制度の概要

USAV の登録制度は、定款により定められている。会員登録することにより、USAV が公認するビーチバレーを含む全米オープン選手権等への参加や、米国代表チームへのトライアウトを受ける権利などが得られる。また、公認大会において発生した事故に対する傷害保険への加入も、会員登録により受けられる。

USAV の会員登録方法は、個人登録のみである。USAV が推奨するオンラインシステム「ウェブポイント」を、各地域協会（Regional Volleyball Association）が各自のウェブサイト上で利用できるようにし、そのシステムを通じて登録する。なお、一部の地域協会では団体登録を設定しているものもあるが、これは各地域協会の自由裁量のもとの制度である。

登録カテゴリーは、各地域協会により異なるが、一般的には以下に分けられる（表Ⅲ-2-9）。年間を通じてバレーボール（インドア）を実施する会員にだけでなく、春から夏にビーチバレーを実施する競技者や、協会公認イベントへの1回のみ参加に加え、バレーボールファンなど幅広いカテゴリーが設定されている。USAV の登録制度は、競技者だけでなくバレーボール支援者の広い受け皿にもなっている。

表Ⅲ-2-9 登録カテゴリー

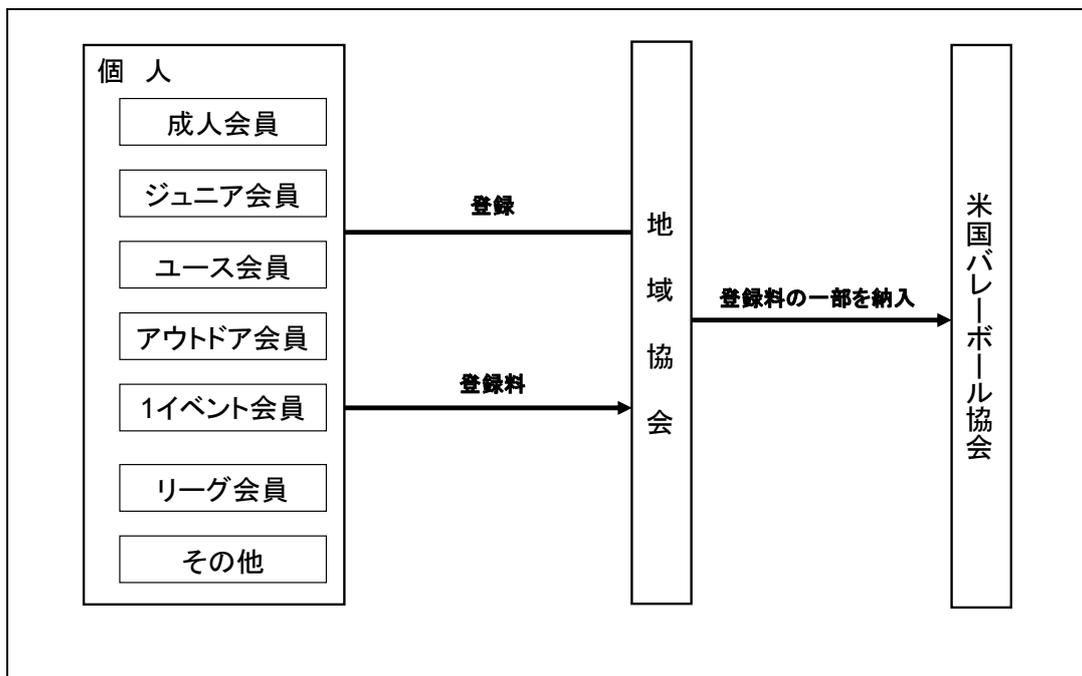
登録カテゴリー
成人(選手、コーチ、審判)
ジュニア(18歳以下の選手)
ユース(11歳以下の選手)
アウトドア(春季後半から夏季に活動)
1イベント(公認イベントへの1回のみ参加)
リーグ(8~12週間の期間限定リーグへの参加)
その他(ファン、シャペロン、リーダーシップ)

USAV ウェブサイトより

原則として、登録受付と会費徴収は全米 40 の地域協会が担当している。登録料の設定も地域協会に委ねられている。地域協会は、徴収した登録料のうち、地域協会ごとに定められた額、もしくは割合を USAV へ納めることになっている。前述の、団体登録を認めている一部の地域協会の場合、団体登録料も独自で取り決め、協会の運営費あるいはイベント経費等に充てている。団体登録料の一部を USAV へ納めるということはない。

USAV の会員登録の方法は、図Ⅲ-2-5 のとおりである。

図Ⅲ-2-5 登録制度の概要



### 5.3 未登録愛好者の状況

全米スポーツ・グッズ協会（Sporting Goods Manufactures Association: SGMA）が2010年に実施した調査によると、過去1年間に1回以上おこなった推計人口は「室内バレーボール（Volleyball (Court))」7,283,000人、「ビーチバレーボール（Volleyball (Beach))」5,028,000人、「屋外バレーボール（Volleyball (Grass))」4,574,000人であった。なお、本調査の対象年齢は6歳以上であり、推計人口にはNFHSの調査による実施者数を含む。

## 6. 指導者

### 6.1 公認指導者制度概要

#### (1) 資格制度

USAVが公認する指導者資格は、IMPACT、CAP I～Vの6種類あり、それぞれのカテゴリーにインドアとビーチの区別がある。指導者資格の受験および認定にはUSA V会員であることが求められる。資格の認定はUSAVがおこなっており、資格認定者の会員属性、所属地域協会・クラブ、犯罪履歴等の情報を管理している。

公認指導者資格の各カテゴリーの役割、対象は以下の表Ⅲ-2-10に示すとおりである。

表Ⅲ-2-10 指導者資格カテゴリーの役割と対象

資格名	役割・対象
IMPACT	USAVのジュニア室内競技プログラムにてコーチングをおこなううえでの必須資格。本資格なしに、ジュニア室内競技のトーナメントにコーチとして登録することができない。
CAP I	バレーボールのコーチングに関する教育を受けた経験がない、もしくはごく僅かであるコーチを対象にした基本的なコーチングの資格。
CAP II	CAP Iコーチを対象にした第2段階目のコーチング資格。
CAP III	CAP II資格認定から1年を経過したコーチを対象にした3段階目の資格。
CAP IV	国際経験を持つ米国代表チームおよび一貫指導コーチを対象にした資格。
CAP V	現在もしくは過去のオリンピックチーム監督を対象にした資格。

USAV ウェブサイトなどより作成

(2)指導者資格養成講習会および更新研修会

USAV の実施する公認指導者資格の取得方法および、受講料は以下のとおりである(表Ⅲ-2-11)。指導者資格の有効期間は IMPACT および CAP V は永久であり、その他は4年ごとの更新となる。更新には、4年以内に上位の資格を取得するか、認定されたカンファレンス、講習等を資格ごとに設定した時間数受講することが必須となる。

表Ⅲ-2-11 指導者資格の取得方法と受講料

資格名	取得方法	受講料 (US\$)
IMPACT	実地もしくはインターネット上(Webinar)にて4時間の講習を受講した上で、オンラインテストにて90%以上の正解率をもって資格認定となる。	50-100
CAP I	2日間で13-16時間の教室もしくはコート上での講習を受講した上で、オンラインテストにて90%以上の正解率をもって資格認定となる。	225-260
CAP II	2日間で15-18時間の教室もしくはコート上での講習を受講した上で、オンラインテストにて90%以上の正解率と論文提出をもって資格認定となる。	250-285
CAP III	3-4日間で28-30時間の教室もしくはコート上での講習を受講した上で、オンラインテストにて90%以上の正解率が求められる。さらに、自身のコーチングの様態を録画したビデオを提出し評価を受け、さらに講習内にてプレゼンテーションをおこない資格認定の評価を受ける。	300-350
CAP IV	4-5日間に渡る28-30時間のトピックを絞った詳細な講義に参加する。講習内でのプレゼンテーションとプロジェクトレポートの提出が求められる。現在のところ、申込者があり次第、実施をしている。	-
CAP V	3.5-4時間の2回の講習を受講する。	-

USAV ウェブサイトなどより作成

2010年度に実施された資格講習会の実施回数および、受講者数は表Ⅲ-2-12のとおりである。

表Ⅲ-2-12 指導者資格講習会実施実績（2010年度）

資格名	講習会受講者数(人)	講習会実施数(回)
IMPACT	2,399	24
CAP I	448	18
CAP II	119	9
CAP III	28	1
CAP IV	0	0
CAP V	0	0

USAV「2010 FACT SHEET by the Numbers」より作成

## 7. 審判員

### 7.1 公認審判員制度概要

#### (1)資格制度と審判資格者数

USAV が認定する審判員資格は、「Junior National Referee」「National Referee」「National Scorer」の3つである。審判員の登録料は、資格種別に関係なく、一律 US\$40 を USAV へ支払う。下位資格として、地域バレーボール協会が認定する「Regional Referee」「Provisional Referee」があるが、資格要件、講習会、更新制度等は地域協会が独自に定めており、USAV はほとんど関与をしていない。

表Ⅲ-2-13 審判員資格の取得者数と取得方法

資格名	取得者数(人)	取得方法
Junior National Referee	247	National Referee講習会を受講のうえ、男女全米ジュニア選手権で認定審査を受ける。
National Referee	251	National Referee講習会を受講のうえ、全米オープン選手権で認定審査を受ける。
National Scorer	61	National Scorer講習会を受講のうえ、全米オープン選手権で認定審査を受ける。

※National Referee と National Scorer 両資格保有者は 174 人。

USAV ウェブサイトなどより作成

#### (2)公認審判員養成講習会および更新研修会

審判員養成講習会について、「National Referee」と「Junior National Referee」の講習会は、丸一日を使い、講義および実技講習がおこなわれる。新規認定および更新において、講習会の受講は必須であり、2011年には31カ所で開催され、1,092人が参加した。

資格の更新には、National Referee 講習会を年1回受講することが義務づけられている。そのうえで、指定の大会で数試合の審判をおこなうことで更新資格を得られる。

## 8. 予算

### 8.1 予算規模および予算における収入構造要素

USAV では、収入・支出の各項目の合計額を予算ベースでは公表していない。決算ベースのみを公表しているため、本調査項目においては USAV の決算額を記すことにする。USAV の決算額は、2010 年度は US\$15,167,217 (1 ドル 80 円換算で約 1,210,000,000 円)、2009 年度は US\$13,184,097 (同、約 1,050,000,000 円) となっている (表Ⅲ-2-14)。2010 年度決算における収入構造は、「全米プログラム (National programs)」50.0%、「会員サービス料 (Membership services)」20.6%、「スポンサー・マーケティング収入 (Sponsorship and marketing)」13.9%、「USOC からの補助金 (USOC grants)」6.4%である。

### 8.2 支出構造

USAV の支出構成は、代表チームや競技会、会員サービスなどあらゆる事業に係る経費を含む「事業費 (Program Services)」と、事務局経費などを含む「管理費 (Supporting Services)」がある。2010 年度の支出割合は、「事業費」87.5%、「管理費」12.5%となっている。事業費の中で最も支出額が大きいものは、「代表チーム (National Team)」で US\$4,478,846 (約 350,000,000 円) である。

表Ⅲ-2-14 決算における収支構造

【SUPPORT & REVENUE】	2010年度		2009年度	
	金額	率	金額	率
National programs	7,576,692	50.0%	6,305,468	47.8%
Membership services	3,125,883	20.6%	3,096,065	23.5%
Sponsorship and marketing	2,109,266	13.9%	1,660,363	12.6%
USOC grants	973,390	6.4%	887,692	6.7%
Product sales less direct costs	375,936	2.5%	311,858	2.4%
International programs	323,286	2.1%	323,261	2.5%
Other programs	290,627	1.9%	260,081	2.0%
USAVF Grants	157,864	1.0%	109,892	0.8%
USPC grants	140,000	0.9%	149,004	1.1%
Contributions	89,834	0.6%	65,316	0.5%
Investment income	4,439	0.0%	15,097	0.1%
<b>TOTAL SUPPORT &amp; REVENUE</b>	<b>15,167,217</b>	<b>100.0%</b>	<b>13,184,097</b>	<b>100.0%</b>

【EXPENCES】	金額	率	金額	率
National teams	4,478,846		3,030,107	
National events	3,278,106		3,265,575	
Membership services	1,682,494		1,553,824	
High performance programs	1,662,094		1,430,997	
National service programs	844,206		879,923	
International programs	601,903		915,889	
Disabled programs	304,775		213,535	
<b>Total Program Services</b>	<b>12,852,424</b>	<b>87.5%</b>	<b>11,289,850</b>	<b>87.3%</b>
<b>Supporting Services:</b>				
National headquarters	1,354,642		1,273,880	
Sponsorship, marketing & public relations	235,416		190,311	
Fundraising	155,488		76,892	
Board of Directors	87,601		98,138	
<b>Total Supporting Services</b>	<b>1,833,147</b>	<b>12.5%</b>	<b>1,639,221</b>	<b>12.7%</b>
<b>Total Expenses</b>	<b>14,685,571</b>	<b>100.0%</b>	<b>12,929,071</b>	<b>100.0%</b>
<b>CHANGE IN NET ASSETS</b>	<b>481,646</b>		<b>255,026</b>	
NET ASSETS, beginning of year	889,777		636,783	
Transfer to USAV Foundation	0		△ 2,032	
NET ASSETS, end of year	1,371,423		889,777	

USAV 資料より作成

## 9. マーケティング

### 9.1 マーケティング事業の体制

USAV にはマーケティング業務を担当する部署はない。スポンサー獲得や契約業務を含むマーケティング業務は、事務局長 (Secretary General) ら 3 人による専門チームが担当している。専門チームが企業などとの交渉を直接おこなうため、専任代理店との契約はしていない。

### 9.2 スポンサーの業種

USAV のスポンサーには、「コーポレートパートナー」「スポンサー・サプライヤー」「ライセンスパートナー」「トレーニングセンターパートナー」の 4 つのカテゴリがある (表Ⅲ-2-15)。アナハイム市 (カリフォルニア州) は、2004 年から USAV とコーポレートパートナー契約を結び、市が所有するスポーツ施設 (アメリカンスポーツ

センター) を代表チームのトレーニング拠点として無償提供をしている。

表Ⅲ-2-15 スポンサー一覧

スポンサー種別	企業名	業種およびサービス
コーポレートパートナー	MIZUNO	スポーツ用具・アパレル
	City of Anaheim	自治体
	Molten	スポーツ用具
	Spalding	スポーツ用具
	Ludus Tours	旅行代理店
	Hilton Worldwide	ホテル
	Sport Court	スポーツ施設
スポンサー・サプライヤー	EM2	アパレル
	Data Project	分析ソフトウェア
	Platex Sport	サニタリー用品
	Volleyball Recruits	選手リクルート・コンサルティング
	Dartfish	分析ソフトウェア
ライセンスパートナー	D.I.S.C.	スポーツ医療
	Bank of America	金融業
	WinCraft	グッズ製作
トレーニングセンターパートナー	Tandem Sport	スポーツグッズ
	American Sports Centers	スポーツ施設
	CIM Group	建設業

USAV ウェブサイトより作成

## 10. 強化

### 10.1 代表選手の所属組織

2010年世界選手権大会および2008年北京オリンピック代表選手の所属先を、「企業」「クラブ」「大学」「その他」(不明含む)に分類した。なお、「クラブ」は地域が主体となっているクラブ、「その他」には、海外のプロチーム等が含まれる。両大会の代表選手所属先をみると、アメリカにはプロリーグがないため、そのほとんどが日本を含めた海外プロチームに所属している(表Ⅲ-2-16)。

表Ⅲ-2-16 代表選手の所属先

大会名	性別	(人)				
		企業	クラブ	大学	その他	合計
2010 世界選手権(イタリア)	男子	0	0	1	13	14
2010 世界選手権(東京)	女子	0	0	0	14	14
2008 オリンピック(北京)	男子	0	0	0	12	12
	女子	0	0	0	12	12

USAV ウェブサイトなどより作成

## 10.2 競技者支援制度

USAV の競技者支援制度は以下のとおりである（表Ⅲ-2-17）。

表Ⅲ-2-17 競技者支援制度

種別	対象	内容
直接的支援	インドアビーチ	代表メンバーとしてのトレーニング期間中、月額で支援金が支払われる。その金額は代表チームでの経歴、プレーセット・マッチ数等によって変動する。
宿泊・食事	インドアシッティング	代表チームトレーニング期間中の宿泊と食事については、USAVとの提携機関との契約により、無償で提供されている。
保険	インドアビーチシッティング	希望者はUSOCのアスリート保険システムが適用される。

USAV ウェブサイトなどより作成

## 10.3 強化拠点

男女インドア代表チームは、カリフォルニア州アナハイム市にあるアメリカンスポーツセンター、男女シッティング代表チームは、オクラホマ州エドモント市にあるセントラルオクラホマ大学ウェルネスセンターを強化拠点としている。ビーチバレーは、USAV が指定する強化拠点は無い。両施設の機能については以下のとおりである（表Ⅲ-2-18）。

表Ⅲ-2-18 拠点施設の概要

施設名	施設機能
アメリカンスポーツセンター	バレーボールコート34面 ロッカールーム シャワールーム ウェイトトレーニング施設 ミーティングルーム
セントラルオクラホマ大学ウェルネスセンター	シッティングバレーボールコート ロッカールーム シャワールーム ウェイトトレーニング施設 宿泊施設 ミーティングルーム

アメリカンスポーツセンターウェブサイトなどより作成

アメリカンスポーツセンターは、アナハイム市から USAV が無償提供を受けており、男女インドア代表チーム約 60 人がバレーボールコートを持時専有している。この施設のほか、選手の住宅や食事、代表チーム車両もアナハイム市より提供されている。

セントラルオクラホマ大学ウェルネスセンターは、男女シッティング代表チームが大学内の施設を無償で借り受けている。週 5 日の練習実施において、ほぼ優先的な使用が

可能となっている。なお、選手のケアについても、同施設内で受けることができる。

## 11. 育成

### 11.1 育成事業概要

USAVにおけるタレント発掘と育成を目的とする事業は、以下の表Ⅲ-2-19のとおりである。

表Ⅲ-2-19 各年代におけるタレント発掘と育成・強化事業

事業名	内容
ハイパフォーマンス・トライアウト	ナショナルチーム、A2チーム、ジュニアナショナルチーム、ユースナショナルチームのメンバーの選出、ハイパフォーマンス・キャンプ参加選手とハイパフォーマンス選手権に出場する全米協会選抜チームの選手選考をおこなう。
ハイパフォーマンス・キャンプ	ハイパフォーマンス・トライアウトによって選抜された選手(2011年度1,526人選出)を対象にナショナルレベルのコーチによるキャンプを実施する。
ハイパフォーマンス・選手権	ハイパフォーマンス・トライアウトで選出された選手の中からさらに選考を経て選抜された選手により構成される全米協会選抜チームおよび各地域協会選抜チーム、海外チームによっておこなわれる選手権。全米代表ジュニアチームとユースチームのトレーニングも兼ねる。
ハイパフォーマンス・コーチ講習会	代表チームのコーチングスタッフおよびNCAAトップレベルチームのコーチによる国内トップおよび国際レベルのコーチングに関する3日間にわたる講習会。

USAV ウェブサイトより作成

## 12. 近年の成果

近年の主要な国際大会から、USAVの強化・育成事業の成果をみることができる(表Ⅲ-2-20)。

表Ⅲ-2-20 主要国際大会の競技結果

男子				
種別	大会名	開催年	開催都市(国)	競技成績
インドア	オリンピック	2008	北京(中国)	金メダル
	世界選手権	2010	ミラノほか(イタリア)	6位
ビーチ	オリンピック	2008	北京(中国)	金メダル
	世界選手権	2010	エドモント(アメリカ)	10位
女子				
種別	大会名	開催年	開催都市(国)	競技成績
インドア	オリンピック	2008	北京(中国)	銀メダル
	世界選手権	2010	東京ほか(日本)	4位
ビーチ	オリンピック	2008	北京(中国)	金メダル
	パラリンピック	2008	北京(中国)	銀メダル
シッティング	世界選手権	2010	エドモント(アメリカ)	銀メダル

USAV ウェブサイトより作成

### 13. 普及

USAV が主催・承認するトーナメントは「成人・大学インドア」「男子ジュニアインドア」「女子ジュニアインドア」「ビーチバレー」の4つに大別できる。これらの大会は、中学生年代から高齢者までの幅広いバレーボール愛好者を対象としており、USAV の普及事業の核となっている。

USAV では、18 歳以下の男子ユース年代の競技人口の確保が課題となっている。このため USAV は、男子バレーボールを高校代表チームプログラム (Varsity Program<sup>※</sup>) として導入する学校やチーム廃止の危機にある学校に対して、年間 US\$500 を助成するという男子バレーボール奨学プログラムを実施している。2011 年度は 20 校を対象に US\$30,000 が助成された。

シッティングバレーボールは、草の根的な普及活動の一環として捉えられている。インドア・ジュニアの予選トーナメント大会等で、海外チームを招いてのエキシビジョンマッチやパンアメリカンカップの共催を通じて、シッティングバレーボールの普及に努めている。

※Varsity Program として承認されることで、各高校の競技部門の予算が適用されることになり、遠征や必要用具がその予算から支出されるほか、外部の専門コーチの有給採用、各高校付帯のアスレチック・トレーニングルームとトレーナーの使用が可能となる。